

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)枚方市楠葉計画 駐車場棟	階数	地上2F、地下0F
建設地	大阪府枚方市楠葉花園町	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	- 人
地域区分	6地域	年間使用時間	- 時間/年(想定値)
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2029年3月 予定	評価の実施日	2025年3月10日
敷地面積	2,352 m ²	作成者	株式会社 鴻池組 高橋
建築面積	1,406 m ²	確認日	2025年3月10日
延床面積	2,803 m ²	確認者	株式会社 鴻池組 稲繼

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8

S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値
②建築物の取組み
③上記+②以外の
④上記+

建設	修繕・更新・解体	運用	オンライン	オフサイト
100%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
0	46			
(kg-CO ₂ /年・m ²)				

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したもので

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質	Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
Q1のスコア = 0.0	Q1のスコア = 0.0	Q2のスコア = 2.8	Q3のスコア = 2.5
5 4 3 2 1	N.A. N.A. N.A. N.A.	機能性 2.9 耐用性 2.7 対応性	生物環境 2.0 まちなみ 3.0 地域性 2.5
音環境 温熱環境 光・視環境 空気質環境			

LR 環境負荷低減性	LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア = 0.0	LR1のスコア = 0.0	LR2のスコア = 2.8	LR3のスコア = 3.0
5 4 3 2 1	N.A. N.A. N.A. N.A.	水資源 2.2 非再生材料の 2.7 汚染物質 3.7	地球温暖化 2.8 地域環境 3.1 周辺環境
建物外皮の 自然エネ 設備シス テム 効率的			

3 設計上の配慮事項

総合
開放性があり、設備機器や内装材料の使用を極力抑える計画とした。

その他
特になし。

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
対象外	耐用年数の長い内装材を採用し、建物の耐用性の向上に配慮している。	敷地内緑化により、緑の量の確保に配慮している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
対象外	発泡剤を用いた断熱材の使用しないことで環境負荷低減に配慮している。	燃焼機器は使用せず、大気汚染防止に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存 2024V1.3

【建物概要】 建物名称		(仮称)枚方市楠葉計画 駐車場棟						
建設地		大阪府枚方市楠葉花園町						
用途／区分		工場						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B-	
①	CO2削減	評価対象外					評価対象外	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	断熱性能	評価対象外					評価対象外	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	評価対象外					評価対象外	
④	エネルギー消費性能	評価対象外					評価対象外	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	評価対象外					評価対象外	
	非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分	評価対象外					評価対象外	
⑤	自然エネルギー直接利用	評価対象外					評価対象外	
	再生可能エネルギー	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
	利用施設の導入状況	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告							報告しない

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮		—
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出	2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3. 2 敷地内温熱環境の向上	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環 2. 2 温熱環境悪化の改善	2.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制		
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化		—
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用		—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項		